

歴博 暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会

第99回 6月23日(土) 13:30~15:30

「シーボルトと暮らしの植物苑」 辻 誠一郎(東京大学大学院)

第100回 観察会100回記念 7月28日(土) 13:30~15:30

「市民のための暮らしの植物苑」 辻 誠一郎(東京大学大学院)

観察会当日は10:00から季節の花・野菜の苗の有償頒布があります



伊勢ナデシコ展示中

伊勢ナデシコは花の咲き方で、花弁の肩がはらずに垂れ下がるもの、肩がはって垂れ下がるもの、花弁がよく縮れるもの、花弁の幅が広いもの、花弁が細く縁辺にひだがあり、大走咲きのもの、八重咲きのもの、の6系統に松坂地方では分けられています。



ヒルガオ (ヒルガオ科ヒルガオ属)

夏緑の耕地や道端に生える多年草で、アサガオによく似た花をつけます。葉はほこややじりの形をしています。同じ仲間のコヒルガオは花が少し小さく、葉がヒルガオの葉の耳の部分が大きくなっています。



ヒルガオ



コヒルガオ

ニンジン (セリ科ニンジン属)

当初導入されたものが、チョウセンニンジンに似ていることからその名がついたといわれます。ニンジンの根は胚軸と根が肥大したもので、その頂部から葉が出ます。花は複散花序で苑ないでは白い花が咲き始めてきました。



ドクダミ (ドクダミ科ドクダミ属)

ドクダミは1属1種の多年草で、低地や林下に群生します。白い花のように見えるのは4枚の総苞葉です。ろうそくのようにあるのが花の集まりです。苑内には個々の花の苞葉が発達したヤエノドクダミ、葉に斑の入ったフイリドクダミの園芸品種もあります。



ドクダミ



ヤエドクダミ



斑入りドクダミ

アサザ (ミツガシワ科アサザ属)

池や沼に生える地下茎のある多年草。花は黄色く3cmほどで、縁には長い毛があります。



ハゼノキ (ウルシ科ウルシ属)

果実から木蠟をとるために古くは栽培されていました。秋には紅葉が美しい木です。ヤマハゼは若枝や葉裏に毛があることから区別されます。果実は蠟やポマードに、材は寄木細工の黄色材としても利用されています。



ハマナス (バラ科バラ属)

海岸の砂地に生える落葉低木。北海道に多く、茨城一鳥取県くらいまで分布します。根はタンニンを含み染料として、花からは香料を、果実は食用に、乾燥させてお茶などに利用されます。

